



ニューズレター あすか

2007
1月号

通算 166号

2007年1月1日

新年の挨拶



医療法人あすか
理事長 高橋 勲

あけましておめでとう
ございます。

皆様方清々しい気持ちで新春をお迎え
になられたこととお喜び申し上げます。

介護保険とその変遷

医療法人「あすか」では、平成6年よりデイケアを開始して以来14年余りが経過致しました。10年以上前の当時は介護そのものが、各家庭で行うべきものと考えられ、デイケア・デイサービス等の言葉自体が耳慣れないものでありました。しかしながら、その後日本の人口構成は急速に高齢化が進み、高齢化社会があつという間に現実となつてしまいました。そして平成12年4月より介護保険制度が施行され、さらに5年経過し新しい見直しにより「介護予防」の考え方が重要視され、リハビリテーションを中心とした介護予防の取り組みが積極的に行われてきておりま

す。また急速に増加してきている認知症の方々、あるいは独居老人の方々に対するサポートとして地域全体で支えていこうという考え方が強調されてきております。

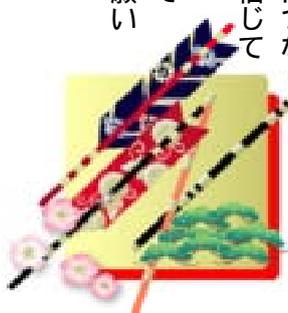
このような状況の中で医療法人「あすか」は、地域の医療、福祉、介護に携わる人達との連携、協力を深めてゆきたいと考えています。

また「あすか」自身のスタッフの教育システムが最も大切と考えており、日常の学習会や研修を地道にくり返し、利用者の方々に最善のサービスを提供できるように努力したいと思えます。

「あすか」では3つの理念(8ページ参照)をかかげ職員全体がこの理念のもとに仕事に取り組んでおります。

また「あすか」は平成16年度に「SOON」の認定を受け、以来地道に品質目標をかかげマネージメントレビューの課題を分析実践し、内部監査を実施しており毎年維持審査もパスしております。

日常の小さな積み重ねの理念に沿った努力が利用者の方々の満足につながるものと信じております。今年もどうぞよろしくお願致します。



▶まやるちよーくの書道のグループのみなさんが、毎月カレンダーを作成して下さっています。エントランスホールに貼ってありますので、是非実物をご覧になってみてください。

【目次】

【ページ】

1. リーダーの抱負.....2
2. おもしろきかな我が人生
~名藤 梅代さん~.....3
3. あすか事業所だより4
4. あすか事業所だより5
5. あすかファッションチェック
6. 「あすか交流会」のお知らせ.....6
7. あすか1月のロードショー
8. 理美容出張サービスのご案内
9. 今井 恵美子さんからのお手紙
10. 若竹句会 11月作品抄7
11. 重度認知症デイケアでのセンター方式の活用.....8



2007年

各事業所、心機一転頑張りますので、今年もよろしくお願い致します。

リーダーの抱負!



支援事業所

三原 千春



私たちケアマネジャーの役割はご利用者様がご自分の人生を自分で決めることを支援し、また、それを実現に近づけることです。ご利用者様、ご家族とサービス事業者とが目標を共有しわかりやすい、元気のよいようなケアプランを作成したいと思います。



まやるちょーく

高島 瑠美



利用者さん・職員ともに楽しく過ごせる空間作り

【理由】

2006年度の整理整頓というテーマを基に、今年度は利用者さん・職員がともに楽しく過ごせるように何が必要で何が不要でないのか考えたいと思います。



かるやんちょーく

大前 恵美



認知症の方は、常に様々な思いを抱えて過ごされています。自分らしく生き生きと、安心して過ごして頂けるよう、スタッフ全員で話し合い連携して、より良いケアを見つけていきたいと思っています。

しゅりあちょーく

石田 聖子



今年もたくさんの花たちに囲まれ、景色を眺めながらプログラムを行い、笑い声の絶えないゆっくりとした時間が過ごせるよう利用者・スタッフと作り上げて行きたいと思っています。

ショートステイ

向井 芳郎



ショートステイでは、作業療法士、健康運動実践指導者のもと、看護・介護スタッフにより個別リハビリやグループリハビリをそれぞれご利用者に合ったプログラムで行っています。また、「いきいき人生計画表」を活用して、新しい年も頑張っていきます。



看護

日高 洋子



看護師の今年の目標「猪突猛進！」医療は日々進歩しています。いろいろな「新しい」情報を逃さぬように常にアンテナを張り巡らして、看護師全員が情報を共有し、皆様の健康管理のお手伝いができるよう努力していきたいと思っています。



事務

中井 祐子



今年の目標は、「時間を大切に」です。日々、時間に追われて仕事をするのではなく、計画を立て段取りよく仕事を進めていきたいと思っています。早めに動く事を心がけていきます。



みどりの木

瀬戸川 マリ



昨年12月より介護保険外のサービスを開始しました。利用者の皆さんにより充実した日常生活が送れるよう支援し、喜んで頂ければと思います。今年もヘルパーと一緒に「できそうなこと」を見つけ自信へとつなげていきましょう。





「高野山を主人と話しなが歩いたのが一番楽しい思い出じゃね」

大正4年3月24日生まれ(91歳)

お住まい...大町

趣味...手芸や編物

好きな言葉...ありがとう

幼少時代の思い出

私は、岡山県の川上郡吹屋町で生まれた。今は成羽町になってるけどね。8人兄弟の下から2番目に産まれた。兄が岡山市内で店をするゆうから15歳の頃、吹屋から岡山市内に引っ越して来た。小さい頃は、吹屋の学校に行きよったけど、その校舎が古い2階建ての木造校舎でね。学校の休憩時間や学校が終わってからは、よく外で遊びよったんよ。ケンケンパをしたり、大人数で縄跳びをしたり、おじやみで遊んだりしていた。それに私の家の前の庭はとも広かったから、友達のみながうちに寄って家の前で遊びよったあの頃が懐かしいよ。

私の得意だったこと

私はね、足が速かったんよ。運動会がある時は色んな学校に選手として走りに行きよった。他の学校からも選手がきよった。それには、先生がはよかけのもんを選んで連れて行きよった。よー走りよったんじやから。小学の頃も中学校の頃も選手でよう行つたね。女子は女子、男子は男子で走るんじやが、勝ったら優勝旗がもらえるんよ。それをもちよって帰つたこともあるんよ。女子も男子も優勝旗をもちよって帰ることもあつたね。よう走りよったんじやから。

結婚

私はね、いとこと結婚したんよ。親にゆわれてね。けどね、いとこは名藤に子どもがないけー貫われて来た子だから他人よね。それにいとこでも、会うこともなかつたからあんまり知らんかった。結婚してからは、幸せだったよ。喧嘩もたまにはするけど、やさしかつたから良かったと思つたよ。主人は20年前にはもう亡くなつたからね。満州事変でシベリア捕虜で連れて行かれたんよ。だから、捕虜で連れて行かれてない人よりも、2年遅れて帰つてきた。ほいでもね、無事に帰ってきたからええ思わにやね。とてもいい主人でね、今でも生きとつてくれりやーね。もう部屋に1人で寝るのが寂しいよ。

ご主人との思い出

主人とはよく2人で旅行に行つたね。車で行つたり汽車や飛行機で行つた。車では岡山や山口へ行つたよ。和歌山(高野山)は遠いので汽車で行つたけど、高野山は歩くところが多いので、主人と話しながら歩いたのが一番楽しい思い出じゃね。そして、岐阜にある飛騨高山に行つた時は色んな所を転々としたので、晩になれば、もう一泊とまるうか



▶ご主人といろんなところへ旅行に行つていた頃のお写真

てゆつて、4日も5日も泊まつた長い旅を思い出すね。そうそう台湾にも行つたね。

そして今

しゅりあちよーくは知つた人が大分出来たから、おもしろいよ。色々話したりね。これからは家族を大事にし、特に嫁さんや息子とは仲良くしていければええ思つとるよ。嫁さんが大事よ。

何をするにもテキパキな名藤さん。そして又、笑顔が素敵ですね。趣味の新聞、広告を利用したゴミ袋造りが楽しいそうです。また、いろいろなお話を聞かせて下さい。

橋本 由美

しゅりあちよーく祭

手芸グループによる自慢の人形です
とってもかわいいですね。



日頃頑張ってこられた皆さんの
作品や写真を展示しました。どれ
も力作ばかりです。
詩吟グループの発表や利用者様
とスタッフの熱演による劇『桃太
郎』もあり、皆さんあふれんばかり
の笑顔と感動でしゅりあちよーく
祭は、大変盛り上がりました。

しゅりあちよーく

11/21



桃太郎さん桃太郎さん
お腰につけたきび団子



左から小池さん・沖本さん・長
谷崎さん、3人で男らしく「王
将」を熱唱

まやるちよーく祭

「のど自慢大会」

まやるちよーく

11/20

カラオケ大好き
大前さんも熱唱！

出演者の歌に拍手！



日ごろの練習の成果を披
露する「のど自慢大会」。
本番前には出演者の方は
緊張でコチコチになってい
らっしゃいました。しかし、
歌い始めるとみんな素晴ら
しいのどを披露してくださ
いました。
「祝い船」「北国の春」「王将」
などの歌では観客の方も一
緒に歌い、楽しい時間となり
ました。また「男らしく」が
で賞「じょうずに歌えただ
賞」などの贈呈式には大きな
拍手が沸きました。



大塚 保枝さん

病児保育室の看板を作りました

まやるちょーくのタイルモザイクメンバーさんが、あすかの病児保育室のために看板を作りました。これは数ヶ月かけた超大作です。



山本 サカエさん



細部まできめ細かく仕上がっています。



鉄森 拾一さん

文化祭

ショート

11/22・23

今年も絵画や書道の作品の展示をしました。また、一人ひとりの個人作品として「プラバンキーホルダー」を作成しました。プラスティックの薄い板に絵を書きオーブントースターで焼き上げると4分の1まで小さくなり、硬いキーホルダーとなります。焼き上がる様子をみていた方は、「こりゃあ手品みたいだね」と驚いておられました。これを車椅子につけたりカバンにつけたりされ、良い記念になったと喜ばれていました。



「これが何になるのかしら？」

☆☆☆あすかファッションチェック☆☆☆ part8

まやるちょーく

いよいよ寒さも本番になりました。来所される利用者の方も、防寒対策をしっかりとされています。今回は、それぞれとてもお似合いの防寒ファッションをご紹介します。



▶ 金川 晴子さん
ダウンベストは背中がぼかぼか



▶ 山根 俊さん
ポンチョ風？マント風？のお洒落な羽織りですね



▲ 岩田 シズ子さん
毛糸のとんがり帽子がとっても可愛いですね

▶ 松本 ツヤコさん
ワンポイントのスクarfは、襟元あったか



▶ 河野 通博さん
あったかさそうなジャンパーに、同色・茶色の帽子をコーディネート





★あすか交流会のお知らせ★



日時：平成 19 年 1 月 27 日（土）13：00～15：00
 場所：あすかホール
 テーマ：『認知症と向き合う』



日頃、介護されている方々の交流の場となればと思っております。
 詳しくは、後日改めてご案内のパンフレットをお配りいたしますので、是非、ご参加下さい。
 CS委員会 松本 由加里

あすか1月のロードショー★

【佐賀のがばいばあちゃん】



あらすじ

漫オブームの火付け役、B & B 島田洋七の自伝小説の映画化!!
 昭和30年代、高度経済成長が始まろうとする時代。極めつけの貧乏生活にあって、どんな厳しい局面でも持ち前の人生哲学で明るく切り抜ける文字通りの“がばい”ばあちゃん。そんな気丈なばあちゃんと暮らした少年とで織りなす、爽やかな笑いと涙に溢れた心温まる感動作

“がばい”とは佐賀弁で“すごい”ということ。
 日本には、こんな“がばい”ばあちゃんがいたんです。

この映画は＝しゅりあちょーくで1/19日（金）＝
 ＝まやるちょーくで1/20日（土）＝
 ＝ショートステイで1/21日（日）＝に上映します。

各事業所では上映する映画についてのアンケートを実施中です。皆様のご希望により新しい映画もどんどん上映していきます。各事業所のシアター開催曜日は下記の通りです。

しゅりあちょーく	まやるちょーく	ショートステイ
毎週月・火・木・金曜日	毎週月・火・金・土曜日	毎週日曜日

理美容出張サービス

1月のご案内

- ・ショートステイ 10日（水）
- ・しゅりあちょーく 15日（月）
- ・まやるちょーく 15日（月）



先月号の素敵なギャラリーの今井 恵美子さんからお礼状を頂きました

“この度は、病院の会報に沢山のスペースを使って掲載していただき感激致して居ります。大変嬉しく、有難う御座いました。下手な絵ですが病院内が明るくなり、皆様が喜んで下されば、私の絵を描く励みになります。唯、無意味に絵を描くより、皆様に見ていただけたらと思いますとあれも描いてみたい、これも描いてみたいと心ははやります。”



若竹句会十一月作品抄



肌寒や しらじらとして **体温計** **河野 一枝**

〔寸評〕「肌寒」は晩秋の季語。秋が深くなると大気が肌に寒々と感じるようになり、熱が下がらない作者のいらだちに、体温計はわれ閑せずと、しらじらしい態度をとっているという一句。熱が下がったら体温計にお詫びの言葉を！

山近し 香りくれるや **松茸が** **常広 信枝**

〔寸評〕松茸は茸類の王者。シーズンになると松茸山には一斉に入山禁止の縄が張られます。その辺りからいい香りが漂ってくる気分になることがあります。山に近いとはいえ、作者の家まではどうですかね。ともあれ、晩秋の松籟(松に吹く風)に仙気がこもる里山の一景。

晩秋や 虫の音淋し **夜の更けて** **福富 康**

〔寸評〕「晩秋」も「虫の音」も秋の季語です。三秋(初秋・仲秋・晩秋)の中の末の意。おおむね天候は定まり、朝晩はやや肌寒い感じもあります。山々は紅葉の季節を迎えて行楽日和が続く。そうした華やかさの反面、虫の音は感傷を誘うものですね。

ふと見れば 食べてもいいよと **木通かな** **大北 政子**

〔寸評〕晩秋の山野に出ると、他の木に絡んだ蔓が七、八センチほどにもなる、紫色の美しい実を垂れた 通草(あけび)を見ることがあります。熟すると縦に裂けて白い果肉と黒い種子が見えます。上五は発見の喜び、中七は熟して口を開けた様子を擬人法でうまく捉えています。

新米や **瑞穂の国の** **幸を知る** **栗根 年雄**

〔寸評〕「瑞穂」は、みずみずしい稲の穂。「瑞穂の国」は稲穂のみのる国、日本の美称。新米を炊いた「飯のおいしさ」と香りは特別で、日本の国に生まれた幸せに合掌される作者の姿がしのばれる一句です。

括られて **萩の素性が** **おさまらず** **伊木 幹枝**

〔寸評〕萩の素性とはどんな素性でしょうか。「いち早く 萩は乱れる 風を得」林火」という名句があるように、秋風になびき乱れる風情は日本人の嗜好に合ったようですね。「括られて」も、なおも乱れる萩の素性を捉えたこと、「おさまらず」という断定が、この句の生命。

信廣高陽 選 (平成十八年)

行く秋や 為すこと数多 **積り居て** **益田 佐登子**

〔寸評〕「行く秋」は晩秋の季語。秋の暮れ行くのを惜しむ心が籠っています。やりたいうこと、やらなければならないことができなかつたことを思いうかべて、ちよっと嘆き節がきこえますね。「明日は明日の風が吹く」という諺もあります。

柿の花 今年も豊年 **願いつつ** **石井 鶴子**

〔寸評〕「柿の花」は仲夏の季語。柿は隔年結実といって生り年と不生り年を繰り返します。作者の願いが届きますように祈っています。

秋の月 雲に追われて **かくれんぼ** **山縣 龍三**

〔寸評〕「月」は春の花に対して、秋を代表する季の言葉で、単に月といえば秋の月のことを言います。世の中の好事にはとかく障害の多いことのとえに、「月に襖(むくも)雲花に風」がありますが、月と雲のかくれんぼに見立てた作者の感覚に脱帽。

松茸や 高値続きの **朝の市** **奥田 アヤコ**

〔寸評〕松茸の生産地は、広島や京都が有名。今年は豊作という世評に反して庶民には高値の花。

紅葉の 古都をめぐりし **友も老い** **花北 乃里**

〔寸評〕落葉樹は、晩秋の寒冷にあつと、紅葉したり黄葉して落ちていきます。普通紅葉といえは楓を言いますが、その他の木にも言います。この句は、眼の前に燃えるような紅葉を見て、古都京都の思い出を一句に仕立てたものでしょう。

腕に搓り **選者 吟** **かけて冬瓜** **料理かな** **信廣 高陽**



11月19日の第24回安佐医学会報告

今年、安佐医学会には、「医療法人あすか」から「重度認知症デイケアでのセンター方式の活用」、「在宅要介護高齢者を介護する家族の負担感について 第2報」、「介護負担尺度を利用したアンケート調査結果から デイサービスにおける昼食の摂取時間から必要な改善を見つけ出す・食事摂取時間調査結果から・デイサービスにおける「口腔機能の向上のためのプログラム」を実施して・第2報の4題を発表しました。今月号では の演題をご紹介します。

【重度認知症デイケアでの

センター方式の活用】

かるやんちよーくでは、認知症の患者さんのケアマネージメントを平成18年5月より、センター方式という方法で行っています。安佐医学会では、センター方式の活用について報告しました。今まで行っていたケアプラン作成方法では情報量が職員によって異なり、すべての職員が同じ方法でケアを行なっていくことが困難でした。

そこで、センター方式シートを使用し、シートにそって情報を収集していくシステムへ変更しました。自宅での様子等については、ご家族の方から情報収集を行っています。また、ミーティングを週1回行い、利用者一人ひとりについて、現在の状態を確認しあい、ケアプランについて検討をしています。



かるやんちよーくでは、9つのシートを選択し使用していますが、センター方式シートを使用することにより統一した視点で多くの情報を収集することが出来るようになりました。センター方式のメリットは、個性を生かしたケアプランの作成が可能になることです。患者さんの「できること」「できないこと」、「わかること」「わからないこと」を明らかにしていきます。昔と現在の生活を分析していきます。

このようにして、患者さん個人の現在の状態を明確にし、良い点に着目した関わりを行っていきます。これからはますます、利用者の方が主体のサービスを提供できるように日々努力をしていきたいと思えます。ご家族の皆様には今後ともご理解、ご協力をお願いすることになります。どうぞよろしくお願い致します。

作業療法士 瀧本 こずえ

医療法人あすかの理念・3s

～当法人はISO9001の認証施設です～

1. **Specialist** (専門家): 職員は、医療、看護、介護の専門家 (Specialist) としての誇りを持ち、実力を高めていくよう努力を続けます。
2. **Sympathy** (共感): 職員は、患者様と利用者様の人生全体を支えるためにその思いを共感し (Sympathy) 必要なサービスを継続的に提供します。
3. **Safety** (安全): 職員は、患者様と利用者様の健康と安全 (Safety) に対して細心の注意を払います。

【編集後記】

あすか通信も166号になりました。今年も皆様に喜んで頂けるような、内容盛りだくさんの通信にしていきたいと思っております。ご意見、ご感想などありましたらお知らせ下さい。皆様のお声を作るものにとって大変、励みになります。どうぞ、これからもご愛読よろしくお願い致します。あすか交流会を1月27日(土)に開催致します。皆様のご参加、心よりお待ちしております。

発行元：医療法人あすか

(編集：浜本 正美・富永 さゆり)

住所：〒731-0103

広島市安佐南区緑井2丁目12-25

高齢者の在宅療養を支援します

ご相談はお気軽に

あすか居宅介護支援事業所
082・830・5177

高橋内科小児科医院

082・879・3143

あすか通所介護事業所

まやるちよーく

082・870・3800

あすか通所介護事業所

しゅりあちよーく

082・830・0552

あすか短期入所生活介護事業所

082・870・6700

あすか訪問介護事業所みどりの木

082・830・5177

あすか福祉用具貸与事業所

082・830・5177

“ニューズレターあすか”は当法人のホームページ上でも見る事ができます

<http://www.asuka-net.or.jp>